

1 テーマ

消費行動を見つめ直す

2 動機、目標

地理の授業でプランテーション農業について学び、先進国の大企業が効率化を追求して発展途上国で大規模な農業をしていることを知った。効率的で、安い商品を提供することは消費者の私達にとっては嬉しいことだ。一方、生産者には十分な賃金や生活のサポートがされておらず、生活が不安定であることを知り、その事実とそれを消費者の私達があまり知らないことを問題に感じた。そこで、まずは消費者の私達が消費行動を見つめ直すきっかけを作ろうと思い、具体的な解決策として、生産者に対し正当な賃金を払って彼らの自立を支援する、フェアトレードという貿易のシステムに注目をおいた。

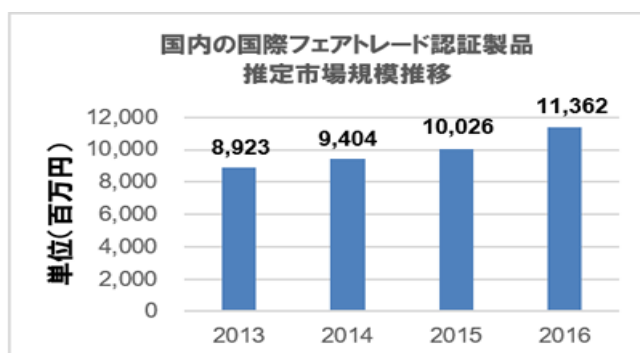
3 問題点

公平な取引が行われなために発生する生産者の貧困状況

多くの消費者がフェアトレードについて知らないという現状

4 現状

私たちがフェアトレードの商品を買うことが、発展途上国の生産者をサポートすることに繋がっている。発展途上国には児童労働や貧困など、様々な問題を抱えている。近年、フェアトレードの認証取得を検討する事業者が増えているが、やはりフェアトレード商品を利用することによって生産コストが上がってしまうためまだまだ多くの企業が採用しているとは言い難い状況である。



← 認証ラベル

5 解決策（1）



フェアトレードで有名なチョコレート以外にも、コーヒーや紅茶などフェアトレードの商品はたくさんある。そこで、フェアトレード商品の紅茶を使っているお店があり、その中でも、女子高生に人気で身近な飲みものであるタピオカミルクティーを使うことで、私達と同じ世代の人たちにフェアトレードについて身近に感じてもらい、消費行動を見つめ直すきっかけにしたいと考えた。また、Instagramなどで情報を共有してもらいより多くの人に知ってもらえるようにしようと考えた。

そこで私達は、このタピオカドリンクのパッケージにシールを貼り、そこにQRコードを貼り付け、フェアトレードについて学べるウェブサイトにとべるようにした。



↑アンケートに答えてポイントをゲットする

タピ
って
応援



#フェアトレード

解決策（2）

学校の家庭科室を使用してフェアトレード商品（チョコレート・茶葉）を使用したTea Partyを開催することを企画した。フェアトレードのことを知ってもらうためにスライドを作成し、さらにクイズやすごろくなどで皆がくつろぎながら楽しめるよう工夫した。しかしコロナウイルスの影響により、実際に開催することが不可能となってしまった。

6 持続性

解決策（1）の場合だと、商品を買ってホームページを見てくださったお客さんがフェアトレードについて知ることができるため、今後のフェアトレードへの関心が高まる。また、お客さんがSNSに商品を投稿することでフェアトレードを広げることができる。解決策（2）の場合は生徒たちが知識を得た上で楽しみながら、フェアトレードを身近に感じることができる。

どちらも認証ラベルの認知度を高め、フェアトレード商品を買うきっかけをつくることができる。皆が商品を買うことで、店頭にはフェアトレード商品が多く並び、より多くの人が入る。

7 SDG s との関係



SDG's との関連性では以上のことが上げられる。フェアトレードを推進していくことによって生産者の方々の収入が増え、飢餓や不平等を無くし、経済成長や平和、公正をもたらすが出来ると考える。また消費者側もつかう責任を考える機会が増えると考えられる。

田園調布学園高等部 クローバー🍀

みんな違ってみんな良い、そんな四人があわせればたくさんのアイデアがいろんな角度で出てきます。私達はこの一年間で、普通の高校生活では学べないような、社会問題、企業とのやり取りの仕方などを学び、視野を広げることができました。